

日本藻類学会（入会申込・住所変更届）（○で囲んで下さい）

（コピーしてお使い下さい）

入会者記入欄 2000年度より入会 2000年 月 日 申込み

氏名 _____

★ Name _____

(Family name)

(Given name)

所属機関名 _____

★ Institution _____

住所 〒 _____

★ Institutional Address _____

電話 _____ Fax _____ e-mail _____

自宅住所 〒 _____

★ Address _____

電話 _____ Fax _____ e-mail _____

★の項目は英語またはローマ字で必ずご記入ください。英文誌の送付に必要です。

以下の欄にチェックして下さい

会員の種類： 普通会員 8,000円 学生会員 5,000円（学生会員の場合、指導教官の署名が必要です）

指導教官の署名： _____

会費納入方法： 同封 郵便振替（できるだけ郵便振替をご利用下さい）

会誌の送り先 所属機関（勤務先） 自宅

入会申込書・住所変更届 送付先：〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1

筑波大学生物科学系

岩本浩二 TEL 0298-53-4908 FAX 0298-53-6614

e-mail: ivanov@anet.ne.jp

会費払込先：郵便振替 口座番号 00180-0-96775 加入者名：日本藻類学会

学会事務局
使用欄

受付

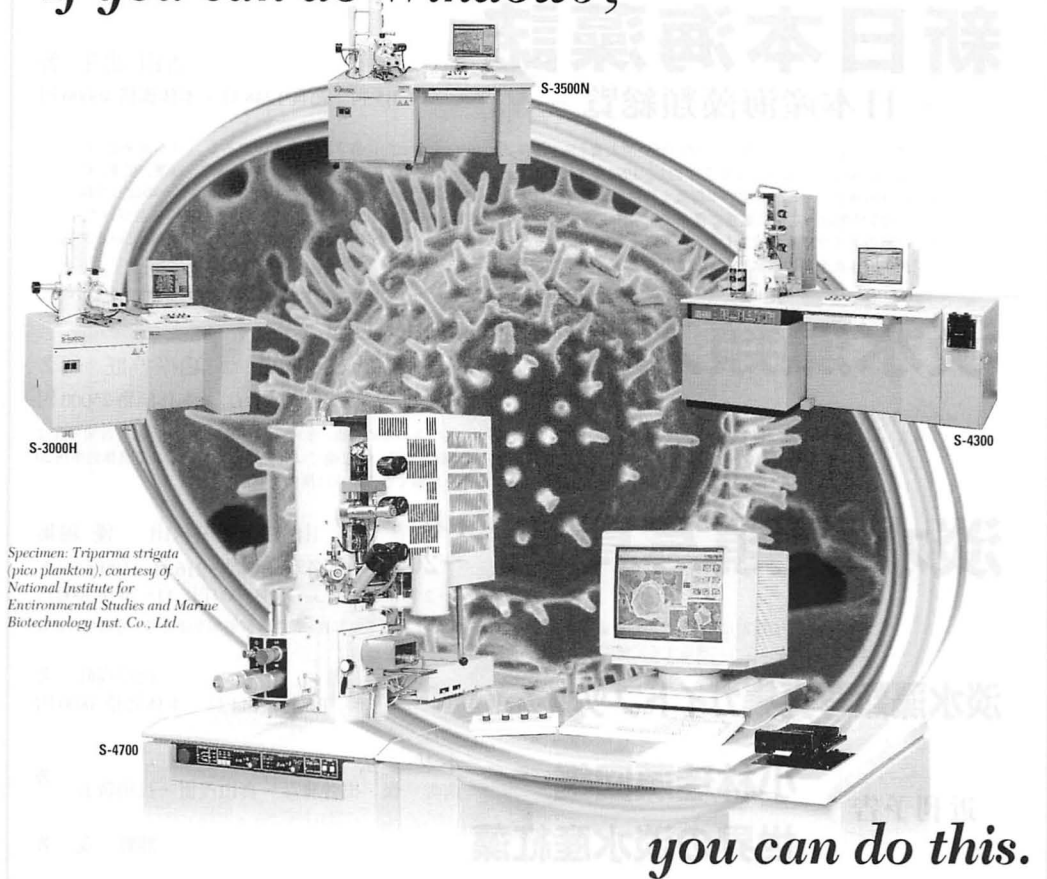
名簿

発送リスト

入金確認

学会録事

If you can do Windows[®],



Specimen: *Triparna strigata*
(pico plankton), courtesy of
National Institute for
Environmental Studies and Marine
Biotechnology Inst. Co., Ltd.

you can do this.

Hitachi has greatly improved the performance and capabilities of the modern Scanning Electron Microscope (SEM). Now they've done the same for the user interface. Call it simple, call it intuitive, call it Windows. The models shown here are the first in a continuing series that combines the well-known power and sophistication of Hitachi's finest SEM technologies with the speed and convenience of the familiar PC interface. Use the mouse, keyboard or on-screen controls for full interactive image acquisition and control. Manual controls are also provided for conventional

operation. Either way, selective or full automatic control helps you obtain outstanding results with comprehensive image storage, indexing and optional networking capabilities for sharing images throughout the laboratory or around the world.

Windows[®] Based PC-SEM

Cold Field Emission Scanning Electron Microscope

S-4700, S-4300

Scanning Electron Microscope

S-3500N/H, S-3000N/H

• Windows is a trademark of Microsoft Corporation, U.S.A.

HITACHI
Scientific Instruments

<http://www.hitachi.co.jp/Div/keisokuki>

For further information, please contact:

NISSEI SANGYO AMERICA, LTD.

755 Ravendale Dr., Mountain View, CA 94043, U.S.A. Tel: (650) 969-1100

NISSEI SANGYO CANADA, INC.

89 Galaxy Blvd., Suite 14, Rexdale, Ontario M9W 6A4, Canada Tel: (416) 675-5860

NISSEI SANGYO CO., LTD.

7 Ivanhoe Road, Hogwood Industrial Estate, Finchampstead, Berks. RG40 4QQ, U.K.

Tel: 118-9328632

NISSEI SANGYO GMBH (DEUTSCHLAND)

Berliner Str. 91, D-40880 Ratingen 1, Germany Tel: (2102) 453-151

NISSEI SANGYO (S) PTE. LTD.

3, Killiney Road, #07-05/09, Winsland House, Singapore 239519. Tel: 7375184

NISSEI SANGYO CO., LTD.

24-14, Nishishimbashi 1-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8717, Japan Tel: (03) 3504-7111

HITACHI, LTD., Instrument

New Marunouchi Bldg., 5-1, Marunouchi 1-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8220, Japan Tel: (03) 3212-1111

新日本海藻誌

— 日本産海藻類総覧 —

吉田 忠生 著

B5判・総頁1248頁・本体価格46000円

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、1997年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。編集にあたっては、各種の学名を原典にさかのぼって検討し、国際植物命名規約に厳密に従って命名法上の正確さを期し、関連する文献を詳しく引用。また、命名規約に基づいて、多くの種のタイプ標本を確定し、その所在を明らかにするとともに、北海道大学、国立科学博物館などに所蔵されているタイプ標本の写真を多数掲載した。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

淡水藻類入門 淡水藻類の形質・種類・観察と研究

山岸 高旺 編著

B5判・700頁(口絵カラー含む)・本体価格25000円

「日本淡水藻類図鑑」の編者である著者がまとめる、初心者・入門者のための書。多種多様な藻類群を、平易な言葉で誰にも分かるよう、丁寧に解説する。Ⅰ編、Ⅱ編で形質と分類の概説を行い、Ⅲ編では各分野の専門家による具体的事例20種をあげ、実際にどのように観察・研究を進めたらよいかを理解できるように構成する。

淡水藻類写真集 1巻 山岸 高旺・秋山 優 編集

～20巻 各巻 B5判・216頁・100シート

1・2巻4000円、3～10巻5000円、11～20巻7000円

1種1シートを原則に、藻体像の顕微鏡写真・部分拡大写真に、走査型顕微鏡写真・線画き詳細図を添えて、分類学的形質が一目でわかるように構成する。解説はすべて和英両文。

淡水藻類写真集ガイドブック

山岸高旺 著

B5判・144頁・本体価格3800円

近刊予告

小林珪藻図鑑

小林 弘

南雲 保・出井雅彦・真山茂樹・長田敬五 著

世界の淡水産紅藻

熊野 茂 著

藻類の生活史集成 堀 輝三 編 藻類多様性の生物学 千原光雄 編著

第1巻 緑色藻類 B5・448p (185種) 8000円

第2巻 褐藻・紅藻類 B5・424p (171種) 8000円

第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5・400p (146種) 7000円

藻類の今を見渡し、理解するための最適の書。斯界の第一人者により、藻学および周辺領域の膨大な知識の蓄積が整理され、新しい研究成果も取り入れられている。藻学を学ぶ方、またこの分野に興味のある方の新たなスタンダード。

陸上植物の起源 渡邊 信 共訳 日本赤潮生物 福代・高野 共編

— 緑藻から緑色植物へ — A5・376p・4800円

— 写真と解説 — B5・430p・13000円

最初に海で生まれた現生植物の祖先は、どのような進化をたどって陸上に進出したのか——。分子生物学、生化学、発生学、形態学などの成果にもとづく探求の書。海藻のような海産藻類からでなく、淡水域に生息した緑藻、特にシャジクモ類から派生したという推論をたて、陸上植物の出現した約五億年前の地球環境、DNAの構造、シャジクモ類の形態・生態・生理などを総合的に考察する。

日本近海および日本の淡水域に出現する200種の赤潮生物を取録。赤潮生物の分類・同定に有効な一冊。

原生生物の世界 丸山 晃 著

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類 B5・440p・28000円

原生生物、すなわち細菌、藻類、菌類と原生動物の分類という壮大な世界を緻密な点描画とともに一巻に収めた類例のない書。

日本淡水藻類図鑑 廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5・960p・38000円

図鑑としての特性を最高度に発揮す為、図版は必ず左頁に、図版の説明は必ず右頁に組まれ、常に図と説明が同時にみられるように工夫。また随所に総括的な解説や検索表を配し読者の便宜を図る。

藻類の生態 秋山・有賀 共編 A5・640p・12800円

日本海藻誌 岡村金太郎 著 B5・1000p・30000円

表示の価格は本体価格ですので、別途消費税が加算されます。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-34-3 内田老鶴園
TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、各号、会員 1,750 円、非会員 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号、1-30 巻索引付き）のみ会員 5,000 円、非会員 7,000 円；欠号 1-2 巻、4 巻 1, 3 号、5 巻 1, 2 号、6-9 巻全号。「藻類」バックナンバーの特別セット販売に関しては本誌記事をご覧下さい。
2. 「藻類」索引 1-10 巻、価格、会員 1,500 円、非会員 2,000 円；「藻類」索引 11-20 巻、価格会員 2,000 円、非会員 3,000 円、創立 30 周年記念「藻類」索引 1-30 巻、価格、会員 3,000 円、非会員 4,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補, 1977, A5 版, xxviii + 418 頁。山田先生の遺影, 経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編（英文 26, 和文 24）を掲載。価格 7,000 円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編, 1972, B5 版, xiv + 280 頁, 6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で, 20 編の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977, B5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

2000 年 3 月 5 日印刷

2000 年 3 月 10 日発行

© 2000 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

Printed by TOPRI

編集兼発行者 田中次郎

〒108-8477 港区港南 4 - 5 - 7

東京水産大学

Tel. & Fax. 03-5463-0526

e-mail jtanaka@tokyo-u-fish.ac.jp

印刷所

株式会社 東ブリ

〒144-0052 大田区蒲田 4 - 41 - 11

Tel. 03-3732-4155

Fax. 03-3730-8286

発行所

日 本 藻 類 学 会

〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1

筑波大学生物科学系内

Tel. 0298-53-4532

Fax. 0298-53-6614

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第48巻 第1号 2000年3月10日

目次

下村謙悟・山本 敏・原山重明・嵯峨直恆：紅色植物門ウシケノリ目の系統解析のための新しい分子種II型DNAトポイソメラーゼ遺伝子 (TOP2) について……………	1
秋季シンポジウム(1999)「藻類の安全性と健康への効用」	
幹 渉：老化予防への海藻の効能……………	9
加藤郁乃進・佐川裕章：海藻食物繊維による癌リスク軽減……………	13
最終講義	
吉田忠生：私の海藻研究……………	21
海外藻類事情	
野呂忠秀：マレーシア — 海藻研究の現状と採集地案内 —……………	27
藻場の景観模式図	
寺脇利信・新井章吾：3. 神奈川県横須賀市秋谷沖・尾ヶ島地先……………	33
藻類学最前線	
石田健一郎：二次共生由来の葉緑体へのタンパク質輸送機構 —ユーグレナの場合—……………	37
英文誌 Phycological Research 47巻3, 4号掲載論文和文要旨……………	39
学会・シンポジウム情報	
田中次郎：自然史学会連合ニュース……………	44
原 慶明：日本進化学会設立総会および記念大会「生物多様性シンポジウム」に 参加して……………	46
平岩呂子：1999年度藻類談話会参加報告……………	47
マリンバイテク香川2000……………	48
学会録事……………	49
日本藻類学会会則……………	55
和文誌「藻類」投稿案内……………	56
日本藻類学会第24回大会(2000)長崎(プログラム・講演要旨)……………	59